

(第1号様式)

埼玉県NPO基金団体登録申請書

平成18年 9月 1日

埼玉県知事 様

特定非営利活動法人

団体名 埼玉カウンセリングセンター

代表者氏名 高倉 恵子

当団体は、埼玉県特定非営利活動促進基金団体登録要綱第2条に該当するので、下記のとおり埼玉県NPO基金登録団体への登録を申請します。

記

| | | | |
|-------------|--|---------|-----|
| 団体名 | 特定非営利活動法人埼玉カウンセリングセンター | | |
| 主たる事務所の所在地 | 〒331-0821 さいたま市北区别所町 15-5 埼玉県NPO オフィスプラザ 201 | | |
| 代表者氏名 | 高倉 恵子 | | |
| 設立登記年月日 | 2006年3月2日 | 社員(会員)数 | 16人 |
| 活動の目的 | 青少年および一般社会人の心身の健康増進に寄与するとともに、明るい社会作りに貢献することを目的とする。 | | |
| 活動の分野 | ①保健、医療又は福祉の増進を図る活動 ②社会教育の推進を図る活動 ③人権の擁護又は平和の推進を図る活動 ④男女共同参画社会の形成の促進を図る活動 ⑤子どもの健全育成を図る活動 | | |
| 事業の種類 | 電話・面接・訪問等による相談活動 カウンセリング等に関する研修会・研究会の開催 講演会等の啓発活動 関係団体との連携 その他前条の目的を達成するために必要な事業 | | |
| 主な活動地域 | 埼玉県内全域 | | |
| これまでの主な活動実績 | 相談活動 (2005年度：電話 191件、面接 159件)任意団体時 (2006年4～8月：電話 126件、面接 72件、訪問 5件) カウンセラー養成のための講座(05年度 39回、06年 30回予定含む) 傾聴・子育て講座・入門など(05年度 17回、06年 17回他講師派遣) | | |
| 今後の活動方針 | 一般社会人が、自分の心の健康を保ち、いきいきと生きることができるよう、相談活動の充実を図る。また、予防的活動として、「心の病にならないための生き方」や、「上手な人間関係の築き方」などセミナーを多く取り入れて、啓発活動にも力を入れていきたい。 | | |
| 県民に対するPR | ひきこもり者の年代が高くなっていること、働き盛りの鬱が増えていること。このような状況から、心の病は決して特別なものではない。ひとりで悩まず、電話・面接・訪問などによる相談を利用して、本来の自分を取り戻していただけるよう、支援している。 | | |
| ホームページ | 有 (URL http://www.h6.dion.ne.jp/~scc) / 無 | | |

本申請書に記載する内容に間違いありません。

代表者氏名 高倉 恵子